

II 公益目的支出計画実施報告

□ 平成30年度（平成30年4月1日から平成31年3月31日まで）の概要

1 公益目的財産額	177,256,123 円
2 当該事業年度の公益目的収支差額（(1) + (2) - (3)）	26,100,259 円
(1) 前事業年度末日の公益目的収支差額	21,559,827 円
(2) 当該事業年度末日の公益目的支出の額	4,540,432 円
(3) 当該事業年度の実施事業収入の額	0 円
3 当該事業年度末日の公益目的財産残額	151,155,864 円

0

4 2の欄に記載した額が計画に記載した見込み額と異なる場合、その概要及び理由

平成30年度は、実績額が公益目的支出計画の計画額を若干上回った。日中学術交流等助成事業への寄附（特定寄附）がなく、講演会、シンポジウムの開催実績がなかった。一方、鳳陽会寄附講座を再開するとともに、職業会計人コースに対する支援等を積極的に行った結果、実績が計画額を37,032円上回った。引き続き、来年度も公益目的支出計画に基づき経済学部に対する支援等を行うこととしており、公益目的支出計画は完了予定事業年度である平成64年度までには完了できる見込みである。

□ 公益目的支出計画の状況

1 公益目的支出計画の完了事業年度の末日（計画上の完了見込み） 平成65年3月31日

2 公益目的財産の状況 (単位：円)

	前事業年度		当該事業年度		翌事業年度
	計 画	実 績	計 画	実 績	計 画
公益目的財産額	177,256,123	177,256,123	177,256,123	177,256,123	177,256,123
公益目的収支差額	22,517,000	21,559,827	27,020,400	26,100,259	31,523,800
公益目的支出の額	4,503,400	4,060,453	4,503,400	4,540,432	4,503,400
実施事業収入の額	0	0	0	0	0
公益目的財産残額	154,739,123	155,696,296	150,235,723	151,155,864	145,732,323

□ 実施事業（教育支援事業・継続事業）の状況等

1 事業の概要

(1) 当該事業に係る公益目的支出の見込額	4,403,400 円
(2) 当該事業に係る実施事業収入の見込額	0 円

2 当該事業実施年度の実施状況

- | | |
|-----------------------|-------------|
| (1) 当該事業に係る公益目的支出の額 | 4,540,432 円 |
| (2) 当該事業に係る実施事業収入の額 | 0 円 |
| (3) ((1)-(2))の額 | 4,540,432 円 |
| (4) 当該事業に係る損益計算書の費用の額 | 4,540,433 円 |
| (5) 当該事業に係る損益計算書の収益の額 | 0 円 |
| (6) 事業の実施状況 | |

ア 経済学部及び学生に対する教育支援事業

職業会計人コースに対する支援・助成、就職活動に対する支援

イ 講演会、シンポジウム及び関連諸行事に対する支援及び実績
実績なし。

3 実施事業資産の状況等

(単位：円)

資産の名称	前事業年度末日の 帳簿価格	当該事業年度末 日の帳簿価格	使用の状況
建 物	2,565,482	2,364,806	計画どおり、引き続き当該事業で使用
建物付属設備	25,870	14,325	計画どおり、引き続き当該事業で使用
構 築 物	70,404	65,412	計画どおり、引き続き当該事業で使用
什 器 備 品	162,619	156,751	計画どおり、引き続き当該事業で使用

□ 特定寄附（山口大学基金に対する寄附）の実施状況

1 当該寄附の相手方の名称及び所在場所

- (1) 名 称 山口大学基金
(2) 所在場所 山口県山口市吉田 1677-1

2 寄附の実施状況等

実績なし

□ 計画記載事項

教育支援事業の概要について

1 主旨（目的）・まとめた理由

経済及び経営学に関する教育、研究等の振興をはかる為の事業、助成支援等を通じて、経済学部、又山口大学全体に関する教育、学術更には、社会、文化の発展に寄与することを目的とする。

(1)、(2)の事業は共通の目的を達成する手段と位置付けられることから一つにまとめた。

2 事業の内容

(1) 山口大学及び経済学部に対する支援、助成事業

本会の目的である山口大学及び経済学部の発展に寄与し、更には社会文化の進歩に貢献する為、全国各地より入学してきた学生の能力、学力の向上を図るべく種々の支援、助成活動を行い、優秀な人材を育て、社会に輩出し、活躍できる様、学生の教育支援に力を入れるものである。

内容、対象者は次のとおりである。

ア 経済学部及び学生に対する教育支援事業

[内容]

(ア) 同窓会（「鳳陽会」）による寄附講座の開催

経済学部の前期カリキュラム日程の中に、同窓会員が講師となり社会に出て役立てる人材を育成すべく、実学を主体とした講座(例：「私が体験した銀行業務の変遷」等)を開設。

(15回の講座を開設し、学生は聴講後レポートを提出し、2単位取得が可能)

本講座は、学生のみならず、一般社会人にも開放しており、又一部の講義に関しては、インターネットのユーチューブで配信しており、講師に対しては、旅費等を支払っている。

[支援対象者]

学部、学生及び一般社会人等

(イ) 経済学部職業会計人コースに対する支援、助成事業

在学及び卒業後における公認会計士、税理士試験の合格を目指す学生達の学力レベル、モチベーションアップを図り、多くの合格者を生み出し、有能な公認会計士、税理士を社会に輩出し経済界の発展に貢献すべく以下の支援、助成を実施。

a 大原学園主催全国大学対抗簿記大会（年2回）参加者への助成（大会参加費、成績優秀者の表彰、海外研修費用）

b 経済学部が実施する公認会計士、税理士試験合格者に対する表彰式への助成（副賞購入費）

[支援対象者]

経済学部及び経済学部学生

(ウ) 各学科別成績優秀者に対する表彰への助成

経済学部が実施している年1回各学科別、学年別成績優秀者の表彰式に関連する費用（副賞購入費他）の助成により、学生のモチベーションを高め経済学部全体の学力向上を図り、優秀な学生を社会に輩出していく。

[支援対象者]

経済学部学生

[助成先]

経済学部

(エ) 就職活動支援事業

社会に対して有能な人材を輩出し、経済界他の発展に寄与する為、学生及び卒業生に対して、以下の支援活動を行う。

- a 経済学部と連携して、学部内の就職相談室に、就職アドバイザーを常駐させ、全学年を対象に就職相談を実施。
- b 同窓会の各支部及び会員のネットワークを通じて、会社説明会の実施及びOB訪問先の紹介などを行う。

[支援対象者]

経済学部、経済学部学生及び卒業生

イ 講演会、シンポジウム及び関連諸行事に対する支援及び助成

[内容]

山口大学及び経済学部が行う学会の発表会、学生、一般市民を対象とした講演会、シンポジウムなどに対する後援及び講師料、会場の使用料等に対する助成、支援を行い、社会、文化の発展に貢献する。

[助成先]

山口大学及び経済学部

(2) 国際交流に対する支援及び助成

山口大学を主体に行われている国際交流及び経済学部留学生との交流等を通して、日本の国際交流に貢献するものである。

ア 留学生との交流活動への助成

[内容]

(ア) 経済学部の留学生との交流会等に対する支援及び助成

- a 経済学部卒業生と留学生（学部及び大学院）との意見交流会等に対する助成を行う。又帰国した卒業生に対して機関紙「鳳陽」を送り、国際交流の促進を図る。
- b JICAの支援を受けた留学生が大半を占める経済学部大学院公共管理コースの各種活動（英会話教室運営等）に対する支援を行う。

[支援対象者]

経済学部留学生及び卒業生

3 財源等

会費及び入会金収入を財源とする。

□ 当該事業年度の事業実施状況

ア 経済学部及び学生に対する教育支援事業

(ア) 同窓会（「鳳陽会」）による寄附講座の開設

〔実施状況〕

今年度は、実績なし。

平成29年度は、前年度まで実施してきた講義形式による寄附講座の全面的な見直しを進めてきた。平成30年度からは、ゼミナール形式による寄附講座を再開する予定である。

(イ) 職業会計人コースに対する支援、助成事業

〔実施状況〕

公認会計士、税理士試験の合格を目指す学生たちの学力レベル、モチベーションアップを図り、多くの合格者を出すことにより、社会の発展に貢献してもらうべく以下の支援、助成を行った。

a 大原学園主催全国大学対抗簿記大会(年2回開催)関連費用等の支援及び助成、簿記大会参加経費の支援

b 公認会計士試験合格者(現役4名)、税理士試験合格者、成績優秀者(現役2名)表彰の副賞費用の助成

(ウ) 各学科別成績優秀者に対する表彰への助成

〔実施状況〕

経済学部が実施している成績優秀者の表彰に対する費用の助成

〔支援対象〕

経済学部及び学生

〔経費内容〕

成績優秀者表彰の副賞費用の助成

(エ) 就職活動支援事業

〔実施状況〕

社会に有能な人材を輩出し、社会の発展に寄与するために、鳳陽会会員の4名が就職アドバイザーとなり、経済学部と連携して、学生たちの就職活動を支援した。

学生の就職活動の具体的な支援活動(学生との個別相談、模擬面接の実施等)のための経済学部と就職アドバイザーとの打合せ及び資料の作成。他学部、他大学同窓会の活動状況の調査等

〔支援対象〕

経済学部及び学生

〔経費対象〕

経済学部と就職アドバイザーの打合せ、資料作成の経費の負担及び他学部、他大学同窓会の活動状況の調査等の費用

イ 講演会、シンポジウム及び関連諸行事に対する支援及び助成

〔実施状況〕

今年度は、実績なし。